

身体表現に関する大学教育としての試み-北翔舞台 芸術の実践からの報告-

著者	田 光子
雑誌名	北翔大学北方圏学術情報センター年報
巻	4
ページ	119-128
発行年	2012
URL	http://id.nii.ac.jp/1136/00001075/

研究報告

身体表現に関する大学教育としての試み

—北翔舞台芸術の実践からの報告—

田 光子

研究報告

身体表現に関する大学教育としての試み

—北翔舞台芸術の実践からの報告—

田 光子

北翔大学短期大学部人間総合学科

抄 録

2004年4月に本学短期大学部に舞台芸術系が発足されてから、舞台芸術について学ぶ北翔舞台芸術の学生も8期生を迎え、すでに8年間の活動を行ってきた。当初の目的は演劇を中心として公演することで、「照明・音響・映像を中心としたバックステージスタッフの養成」をすることであり、「読む・書く・話す」などの基礎学力の向上やコミュニケーション能力を涵養できる幅広いカリキュラム¹⁾が構成されたが、近年さらに演技者志望の学生数が増し、それにともないバックステージスタッフの養成にのみとどまらず、演技者や企画・製作などを目指す学生の養成も目的とし、従来の7分野にわたるカリキュラム「照明」・「音響」・「舞台芸術全般」・「戯曲・鑑賞」・「身体表現」・「企画」・「映像」のさらなる充実を図っている。

演技者にとって舞台上で演じられる身体解放と自由に表現できる身体保持は欠かせないものであり、またバックステージスタッフにとっても基礎的な体力はもちろん作品を理解する上で必要となる時代背景や文化理解、そこから生じる身体表現を知ることは重要であると考えられる。

ここでは、その「身体表現」分野を取り上げ北方圏学術情報センター「ポルト」（以下：ポルト）で行われている実践的教育としての試みを報告するものである。

キーワード：身体表現，ダンス・舞踊，コミュニケーション，コラボレーション

I. はじめに

2011年度の身体表現分野には「身体表現Ⅰ」，「舞踊研究」，「舞踊専門研究」の科目があり、さらに総合的なカリキュラムとしての「演劇入門Ⅰ・演劇入門Ⅱ」においても身体について基礎的な知識の習得と自分の身体について知る授業を取り入れている。これらはすべて3年生までの科目であり、ポルト授業として展開している。

本学では大学芸術メディア学科と短大人間総合学科は連携を強化しており、ポルト授業は「事前承認科目」として大学生も短大2年生までの科目を簡単な手続きで履修できるようになっており、ポルト授業以外にもこのような事前承認科目に該当する多くの科目が設定され、両学科の学生が相互の学科の科目を簡単に受けられるようになっている。また他学部他学科履修制度も利用することで学生が自分の専門に関連する科目を履修することができる。これにより、例えば演劇公演をする場合、北翔

舞台芸術の学生が服飾コースの「舞台衣装」の授業を受け衣装を製作することができたり、「舞台衣装」履修生に衣装をお願いし協同作業することでコラボレーションが成立する。また音楽コースの学生に公演の音楽制作を依頼することにより学生同士のコミュニケーションが生まれコラボレーションが可能になる。さらに学外発表会やオープンキャンパスなどのファッションショーでは、服飾について学ぶ学生が、デザイン、製作、モデルなどを担い北翔芸術舞台の学生がステージの設営、音響・照明の仕込み、オペレーターやナレーションなどを担当するなど、まさに本学が持つ各学科、各コースの特性を生かしたコラボレーションが実現するという独自の特色が生まれている。

II. 北翔舞台芸術とは

前述したように両学科の連携は強化されており、特に舞台芸術を専門に学ぶ学生を「北翔舞台芸術」と称して

いる。つまり2004年に前北海道浅井学園大学短期大学部人間総合学科の6番目の系として発足された舞台芸術系が2007年「北翔大学短期大学部」に名称変更、北翔大学短期大学部人間総合学科舞台芸術系となり、2009年に北翔大学生涯学習システム学部芸術メディア学科に舞台芸術コースが設置されて、舞台芸術に関する部分において両学科の学生を区別することなく「北翔舞台芸術」として活動すること²⁾を云う。

これにともない、今まで短大2年間で4回の公演発表を行い、「1年目試演会」「中間公演」「2年目試演会」、2年目の最後に行う公演を「卒業公演」としていたが、2010年から「中間公演」と「卒業公演」をそれぞれ「定期公演」と名称を改め、「試演会」は学年ごとに行い北翔舞台芸術としての公演発表としている。よって短大生は従来通り2年間で4回、大学生は4年間で8回の公演発表をするという、イベント指向型教育の授業を実践している。

Ⅲ. ポルト授業の形態について

さて、ポルト授業は通常の授業とは異なる授業形態を
なしており、2006年から始まった舞台芸術プロジェクト

研究の授業の一環として行われている。

講義要綱によると『この授業はこの授業を履修する学生を被験者として位置づけた北方圏学術情報センターにおける「舞台芸術創造の方法論を活用した地域貢献に関する臨床研究」の実践の場である。この研究は舞台芸術が人々の生活にもたらす様々な役割を明らかにすると共に、舞台芸術の製作過程で培われてきた方法論を、地域社会に貢献する人材育成や、生涯学習の中で有効に機能させる可能性を多角的に検討している。・・・この研究授業はその時間・内容を解体・再構築して行う。そうすることによって、学生は「演劇を中心とした舞台芸術全般について幅広く総合的に学ぶ」とともに、グループとして学習し「コミュニケーション能力」や「コラボレーション能力」を身につけていくことができ、同時に「舞台芸術創造の方法論を活用した地域貢献に関する臨床研究」の実践的研究の場ともなる。』³⁾と記載されているようにボルト授業では各学年の科目を単独で履修することができず、表1、2のように1、2年目は3つの科目、3年目は2つの科目を履修することにより総合的に単位認定される。

2011年度のボルト授業における前・後学期スケジュールは以下のとおりである。

表1 前学期スケジュール

2011 年前期 スケジュール Version(2011/4/1)			Version(2011/5/16)Version(2011/5/16)Version(2011/4/1)		
1年生			2年生		
舞台映像製作入門			映像・音響演習Ⅰ		
	ホール	実験入門Ⅰ		ホール	身体表現Ⅰ
4/11	オリエンテーション 映像①(演劇)①	ボルトツアーズ 演劇①	オリエンテーション ①(装置)①	定期公演準備 身体①	8F
	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	
4/18	照明基礎 バック①②	トレーニング 演劇②	バックヤード 会議室A		8F
	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	
4/25	音響基礎 バック③④	ピラティス 演劇③	舞台装置入門 装置③④⑤		8F
	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	
5/2	トレーニング 演劇⑤⑥	平場の組立方 演劇④	定期公演準備(含照明・音響) 組・音⑤⑥⑦		8F
	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	
5/9	映像撮影入門 映像⑦⑧	トレーニング 演劇⑤	定期公演準備(含照明・音響) 組・音⑥⑦⑧		8F
	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	
5/16	定期公演仕込 映像⑨(バック⑨)⑩	レポート	定期公演仕込 ⑩(音・装置⑨⑩)		8F
	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	
5/17 -22	定期公演(5/21・22 本番)		定期公演(5/21・22 本番)		
5/23	映像撮影入門 映像⑪⑫	ピラティス (含話劇会席) 演劇⑥	休講		8F
	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田			
5/30	定期公演を振り返る(含む試演会について) 映像⑬⑭	Jazz Dance 演劇⑦	定期公演を振り返る(含む試演会について) 身体⑬ 組・音⑭	Jazz Dance 身体⑭	8F
	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	
6/6	演劇の基礎 バック⑮⑯⑰	ホール	バックヤード 会議室A	「テーマを具 現化する」の 説明・チーム 分け	8F
	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	
6/13	照明の基礎 バック⑱⑲⑳	ピラティス 身体⑱	テーマを具現化する 身体⑲ 組・音⑳	ピラティス 身体⑲	8F
	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	
6/20	第2学期気 演劇⑳	映像撮影入門 映像㉑㉒	テーマを具現化する発表 身体㉑㉒ 組・音㉓	(5分間ストー リー)の説明・ チーム分け	8F
	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	
6/27	富良野市(富良野演劇工場)研修 バック㉓(映像㉓)	レポート	富良野市(富良野演劇工場)研修 身体㉓㉔ 組・音㉕	レポート	8F
	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	
7/4	教室C/会議室C	8F	ホール		8F
	メイキングの基礎 演劇㉖㉗	レポート	5分間ストーリー 身体㉖ 装置㉗ 組・音㉘		8F
	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	
7/11	映像撮影入門 映像㉘㉙㉚	ホール	5分間ストーリー発表 身体㉘ 装置㉙ 組・音㉚	レポート	8F
	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	
7/25	テスト バック㉛㉜ 演劇㉛	ホール	バックヤード 会議室A		8F
	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	
	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	黒、紅、緑、青、白、黄、紫、茶、灰、白、黒	森、村松、田	

表2 後学期スケジュール

2011年後学期スケジュール Version3(2011/11/21)				Version2(2011/10/15) Version1(2011/9/16)		3年生	
9/26	1年生 舞台衣装(各メイク・ヘアメイク) バックステージⅡ	演劇入門Ⅱ	ホール	照明・音響演習Ⅱ	特殊効果 会議室C	舞踊研究	バックステージ研究Ⅱ
	ホール	8F			特殊効果 会議室C		会議室C/ホール
10/3	照明の基礎 バック①②	発声・インプロ 演劇①	森、村松、田	特殊効果 特殊効果①②③	吉田	会議室C	バックステージ研究Ⅱ バック研究①②
	ホール	8F			会議室C		森、村松、田
10/10	音響の基礎 バック③④	発声・インプロ 演劇②	森、村松、田	舞踊研究 舞踊①	照明プラン(仕込み眼を描こう) 照・音③④	森、村松、田	バックステージ研究Ⅱ バック研究③④
	富井、服部、五ノ井	森、村松、田			舞踊研究 舞踊②		森、村松、田
体育の日				体育の日		体育の日	
10/17	ホール	8F		8F	8F多目的研究室	会議室C/ホール	会議室C/ホール
	トレーニング(山本先生) 演劇③④	5分間ストーリーA ～演技編～演劇③	森、村松、田	舞踊研究 舞踊③	ミキサー機底研究 照・音③④	バックステージ研究Ⅱ バック研究⑤⑥	バックステージ研究Ⅱ バック研究⑤⑥
10/24	会議室C・控え室C			田	富井、服部、五ノ井	森、村松、田	森、村松、田
	メイクの基礎 メイク①②③			会議室C		会議室C/ホール	会議室C/ホール
10/31	ホール			特殊効果 特殊効果④⑤	ホール	舞踊研究 舞踊④	バックステージ研究Ⅱ バック研究⑦⑧
	照明の基礎【5分間ストーリーに絡めて】 バック③④⑤ 演劇⑥			吉田	田	森、村松、田	森、村松、田
11/7	ホール	会議室C・8F		特殊効果 特殊効果⑥⑦	舞踊研究 舞踊⑤	舞踊研究 舞踊⑤	バックステージ研究Ⅱ バック研究⑨⑩
	音響の基礎【5分間ストーリーに絡めて】 バック⑦⑧	音響の基礎【座学】 演劇⑦		吉田	ホール	森、村松、田	森、村松、田
11/14	富井、服部、五ノ井	富井、服部、五ノ井		会議室C	舞踊研究 舞踊⑥	会議室C/ホール	会議室C/ホール
	ホール			吉田	8F	バックステージ研究Ⅱ 本書17日・18日	バックステージ研究Ⅱ 本書17日・18日
11/21	5分間ストーリーA 発表 バック⑨ 演劇⑧	メイク④		会議室C	舞踊研究 舞踊⑦	森、村松、田	森、村松、田
	森、村松、田	8F		吉田	ホール	森、村松、田	森、村松、田
11/28	5分間ストーリーB 発表 バック⑩ 演劇⑨	メイク⑤⑥		舞踊研究(発表) 舞踊⑧⑨ 照・音⑤		会議室C/8F	会議室C/8F
	森、村松			照見、鈴木、富井、服部、五ノ井、(森、村松)、田		舞踊専門研究(含むVol2振り返り) 舞踊専門②③	舞踊専門②③
12/5	8F 控え室C	ホール		ホール		田	田
	5分間ストーリーB(含むメイク) メイク⑦⑧	シーンデザイン バック⑪		シーンデザイン(照明・音響効果とイメージ) 照・音⑥⑦⑧		会議室C/8F	会議室C/8F
12/12	照見、鈴木、田	(森、村松、田)		照見、鈴木、富井、服部、五ノ井		舞踊専門研究 舞踊専門④⑤	舞踊専門④⑤
	ホール			8F		田	田
12/19	5分間ストーリーB 発表 演劇⑪ メイク⑪⑫			定期公演準備 舞踊⑩ 照・音⑥⑦		舞踊専門研究 舞踊専門⑥⑦	舞踊専門⑥⑦
	照見、鈴木、富井、服部、五ノ井、森、村松、田			森、村松、田		田	田
1/16	ホール			8F		会議室C/8F	会議室C/8F
	5分間ストーリーB 修正発表 バック⑪⑫⑬			舞踊⑪ 照・音⑧⑨		舞踊専門研究 舞踊専門⑧⑨	舞踊専門⑧⑨
1/23	照見、鈴木、富井、服部、五ノ井、森、村松、田			(照見、鈴木、富井、服部、五ノ井、森、村松、田)		田	田
	ホール			ホール		会議室C/8F	会議室C/8F
1/30	定期公演仕込み～1/21・22 本番 演劇⑭⑮	メイク⑬		定期公演仕込み～1/21・22 本番 特殊⑭⑮ 舞踊⑬ / 舞踊⑭⑮⑯		舞踊専門研究(定期公演仕込み) 舞踊専門⑪⑫	舞踊専門⑪⑫
	照見、鈴木、富井、服部、五ノ井、堀田、藤原、吉田、森、村松、田			照見、鈴木、富井、服部、五ノ井、堀田、藤原、吉田、森、村松、田		田	田
1/23	ホール/控え室C					会議室C/8F	会議室C/8F
	メイクと照明 演劇⑭⑮ メイク⑭⑮					舞踊専門研究 舞踊専門⑫⑬	舞踊専門⑫⑬
1/30	照見、鈴木、藤原、森、村松、田					田	田
	ホール					会議室C/8F	会議室C/8F
1/30	テスト 演劇⑯⑰⑱⑲			ホール		舞踊専門研究 舞踊専門⑭⑮	舞踊専門⑭⑮
	森、村松、田			テスト 照・音⑭⑮⑯		森、村松、田	森、村松、田

Ⅳ. カリキュラムの概要

身体表現分野の授業に関しては専任が担当するが、より多様な学びを学生に提供するために多方面における専門の指導者をお招きしている。先に述べたように基礎的な身体についての知識の習得および自分の身体を知る講義、自分の身体と向き合いながら呼吸法や持久力、体力、柔軟性の向上をめざす講義、シアターにおけるダンス表現の方法と見せ方を学ぶ講義などを行っている。またあらゆる国の作品を公演するに際して、その国の時代背景や文化を理解し、そこから生じる身体表現を理解するための柔軟な思考力を養うと同時に身体の可能性を培い表現する講義を行っている。あらゆる国のダンス・舞踊といっても、広範囲にわたるため、ポルト授業では本学と密接に関係のある国として姉妹校がある国、韓国とアメリカ・ハワイ、そして学生自身の母国である日本を選択し各国のダンス・舞踊についての実践的授業を行っている。

また、座学の講義としては大学において「舞踊芸術論」が4年目に開講され、理論的に深く舞踊芸術に

ついて学ぶことができる。

では、次に本年度のポルトにおける身体表現関連科目の授業内容と目的をみてみよう。

1. 「演劇入門Ⅰ・演劇入門Ⅱ」

上記科目の授業の中では前期「演劇入門Ⅰ」と後期「演劇入門Ⅱ」において1回ずつ、学生が自ら「自分の身体を知る」大切な場としての講義を設定している。

講義内容は以下のとおりである。

前期：人体の構造、骨の役割、筋肉の役割、筋力の発揮、自分の身体を知ろう①（アライメントチェック（立位）、自分の身体を知ろう②（体力測定）男女の違い・文化の違い、ストレッチ、ストレッチの種類など

後期：きれいな姿勢とは？、姿勢の変化、柔軟性の確認、体力測定と開眼バランス測定、バランスとは、ストレッチとは、コーディネーション、ウォーミングアップ①（ボールを使ったコーディネーションドリル）、ウォーミングアップ②（静的・動的ストレッチ等）、ボディーコーディネイトプログラム①（腹式呼吸・レッグレイズ、ヒップリフト等）、ボディーコーディネイトプログラム②（ゆっくり動く、スタビリティ等）、

ウォーキングプログラム、クールダウン。

このような内容の授業は前・後学期の早い段階に講義を設定し、人体や骨・筋肉の役割についての基礎知識をはじめとして舞台上でのアライメント（立位）や姿勢、体力、柔軟性などについての知識や動きを学び、体力測定を通して自分の身体を知り、今後の体づくりに必要なストレッチやコーディネーションなどの実技を行うことで、これからの2年間あるいは4年間の自分にあったプログラムを構築することができるようになることを期待している。

2. 「身体表現Ⅰ」「舞踊研究」「舞踊専門研究」

上記科目の授業の中で、それぞれ「身体表現Ⅰ」ではシアターダンス、テーマを具現化、「舞踊研究」では日本舞踊や韓国舞踊、「舞踊専門研究」ではフラダンスの歴史や小作品の練習・発表をしているが、その準備として「ピラティス」を取り入れている。

これらの内容と授業についての感想は次のとおりである。

- 1) 「ピラティス」は自分の体を見つめる絶好の機会であり、自分のペースで自分に合った呼吸法や柔軟性を身につけながら自然に腹筋や体力・持久力を養うことができるため、演技やダンス・舞踊をする者にとっては有益な授業といえよう。



学生の感想

1. 体力づくりの運動をする時間を自分で作ることがなかなか難しいので、授業の中でやってくれるのは嬉しい。
目に見える効果はまだわからないが、授業をやっている時「鍛えられてるな」というのは実感できている。
2. 毎回きつくて大変ですが楽しいです。ピラティスをずっとやりたかったのが毎回楽しみです。呼吸や足を上げたりなど大変で苦しいですが、効果を期待してこれからも頑張っていきたいです。これからは、呼吸のやり方を先にマスターしていきたいです。
効果：初めての時、次の日にすぐに筋肉痛になったので効果は出ていると思います。

3. 体がかたくて痛かったです。疲れてたけど、新陳代謝が良くなり、筋肉が鍛えられているのを実感したので良かったです。
4. 自分の体が思っているよりボロボロだったのでショックでした。けれど、ピラティスをやることによって、自分の体を知ることができて、どこが弱いかわかったので、筋トレやストレッチの大切さがわかった。
5. 自分は運動不足でとろい動きしか出来なくてコンプレックスだったので、ピラティスをして少しずつ筋肉を鍛えたいなと思いました。（おなかと二の腕がぶよぶよしているので、これから頑張ろうと思いました。）
効果：普段あまりお腹の筋肉を動かさないで、少しの運動になった。
6. 今も手が震えて書けない。でもなんか体に良さそう。お腹が痛くて仕方なかったけど、もう直った。
効果：まだ出てない。明日は筋肉痛
7. 1回しかやってないけど、ヘルニアのリハビリになりそうなので続けたいです。
8. 腰が悪いんですけど、少しよくなったような気がしました。
9. 今日のピラティスとてもいい運動になりました。夏に向けて体を鍛えていきたいです。
10. ピラティスは初めてでした。とても楽しかったですが難しかったですね。
腕、お腹に特に効きました。面白かったので、機会があればまたやってみたいです。
11. ピラティスをして体が良くなるのを感じました。日本語が下手だから、となりの人がするのをずっと見ながらするのはたいへんだったんですが、おもしろいし、実際に一人でもできるのだから家でもできる感じがした。
12. 体がかたくて大変でした。ピラティスをやって、少しは身体がやわらかくなったと思います。
13. マットの臭いが本当にだめなので、本当に幸せではない時間であった。なんとなくやることと理由は分かるのだけれども、別にやる気にならない。
14. ちょうど昨日ずっと公演撮影をしていたので、肩こりがひどかったので肩こりに効くものもあったので、なんだか少し楽になった気がします。あと顔のむくみをとるやつは絶対これからやっていこうと思いました。
15. 今日ピラティスをやって、私は体がかたいので辛かったけど、これをやって体がやわらかくなって調子が良くなるのなら、毎日できるだけやりたいと思います。

- 2) ジャズダンス授業として毎年1回指導を受けているが、今回は「シアターダンス」をお願いし、1,2年合同授業となった。ミュージカル「アニーよ 銃をとれ」の中から「ショーほど素敵な商売はない」という曲を選び、振付けを習い練習しながら、動きや顔の表情、足や指先までどのように見せるか、そのためにはどのようにすべきかを学ぶことができる授業である。

学生の感想

感想（1年）

1. すごく汗をかいて疲れた。でも、楽しかった。半曲踊るだけでかなり疲れたけど、これを2時間続けてやれる役者さんはほんとに大変だなと思った。
次の授業までにもう少し体力をつけて、なるべくバテないようにしたい。
2. シアターダンスをして大変でしたが、楽しかったし、いい運動になりました。
もっと違うダンスもやりたいなと思いました。ありがとうございました。
3. 小さい頃に少しやっただけだったので、今回の久しぶりのジャズダンスはとても楽しかったです。ミュージカルだったのでなおさら楽しくやれました。ジャズダンスの時はタオルが必要なので、あらかじめ言ってくれたらうれしいです。次回ジャズダンスをやる時はコーラスラインやユタなどの劇団四季をやってほしいと思いました。コーラスラインは皆でやったら楽しいと思います。他にもダンスは色々やりたいです。ジャズダンスを習おうかと思っていましたが、決心がつかしました。
ありがとうございました。
4. ジャズダンスをして、とても良い汗をかいて気持ち良かったです。あと運動神経がわるいのでとても良い刺激になってよかったです。また、ひまな時やりたいなあとと思いました。そしてミュージカルなどおどりがある劇をしたいなと強く思いました。個人的に「スウィーニー・ドット」をしてみたいなと思いました。
5. 今日はじめてジャズダンスをやりましたが、思っているよりも大変だったのが、一番印象に残っています。
6. 今日のジャズダンスをやると聞いた時は、いったいどんなダンスをするのか楽しみでした。実際にジャズダンスを踊ってみて、なかなか楽しかったです。
7. すごく疲れた。足がいうことをきかないとはこういう状況のことをいうんだなあとと思いました。足が動かないので、足がもつれて大変でした。もう本当キツかった。リズムがとれないものもあるけど、先生の足が人で見えないので、まったくわかりませんでした。ちょっとのフレーズしかやってないのにいい汗をかきました。
また来て教えてほしいです。「アニー・よ銃をとれ」はタイトルしかきいたことがないのでこんなんだったのかと思った。
8. 体動かすの苦手でダンスも苦手なんですけど、でもダンスは好きなので楽しかったです。でもだんだんとできるようになっていったのでうれしいです。カンペキにしたい！ミュージカルはあこがれです。今日はありがとうございました。また来て頂けたらうれしいです。
9. 初めてシアターダンスを踊ってすごく楽しかったけれど、すごく疲れしました。
上手に踊れていると思っていたのに、友達に左右が違々と指摘されてから左右ばかり気にしてしまっただけでグダグダになってしまいました。このシアターダンスを覚えたら、カッコイイなと思いました。体力不足も解消されると思うので、また機会があれば、先生に教えて

もらいたいです。本当に楽しかったので、ミュージカルも、いつかできたら良いなと思いました。

10. ダンスをあまりやったことがなかったので大変でした。手をのばした時に首のスジをやってしまいました。だいじょうぶです。
11. 学生の体力不足が大変だ。皆準備体操だけでばてばてになっちゃってる。個人的には別に大変ではなかった。座学より良い。多少汗ばんだだけ。
今までシアターダンスやったことないわけではないが、身体表現が苦手だと今日改めて実感した。体が硬いので動きをまねしてもきれいに见えない。致命的だ。

（2年）

1. ミュージカルはきめがきびきびしているものだと改めて感じました。手足の伸びが先生はきれいでした。
ミュージカルは全くできないのであこがれます。
2. 久しぶりに体を動かして楽しかったです。舞台をやる時も、ダンスの要素が入ればもっとおもしろくなるのではないかなと思います。次の試演会でこれを生かしたらよいなあとと思います。
3. 今回のジャズダンスは、もう少しゆるやかなイメージだったのですが、とてもハードだったのでビックリしました。更に、本物はタキシードを着て踊るということを知って、Tシャツだけでも汗だくなのになと思いました。
初めてのジャズダンスというかシアターダンスは、楽しくできました。来週もやりたいくらい楽しかったです。体力もつきそうな気がします。
4. ジャズダンスを踊ってとても汗を流しました。ストレス発散になって楽しかったです。自分はオーナーでエライんだぞ！という気持ちで堂々と踊ることを目指したけど、なかなか振りについて行けなかった。こういうダンスを舞台で大勢の人の前で踊れたら気持ち良いだろうと思いました。
5. 今回のやつで運動不足が緩和されました。けっこう楽しかったです。
6. 踊りは好きで、ミュージカルにも興味があるので、凄く楽しかったです。私は幼い頃から踊りと言えよさこいばかりだったので、振りによさこいっぽさがあったと思います。細かいステップが大の苦手なので苦労しました。
1つのことに気を取られて腕が動いていないとか、あったのですが、楽しく出来ました。とても貴重な体験をさせて頂きました。またいつかやりたいです。
今日は有難う御座いました。
7. ジャズダンスと聞いて、なじみのないジャンルだったが、シュウエッセンのCM等でみたことがあったので親しみやすく気持ちよくおどれた。ミュージカルの役者はすごいと思った。
8. 今日はとてもいい汗をかけました。こんなにすがすがしい気持ちは久しぶりです。
9. 本当に楽しい授業でした。今日は本当にありがとうございました。
10. 途中からの参加でしたが、たのしかったです。シアターダンスの存在も今日はじめて知りました。ダンスやからだを動かすことはあまり得意ではないですが機

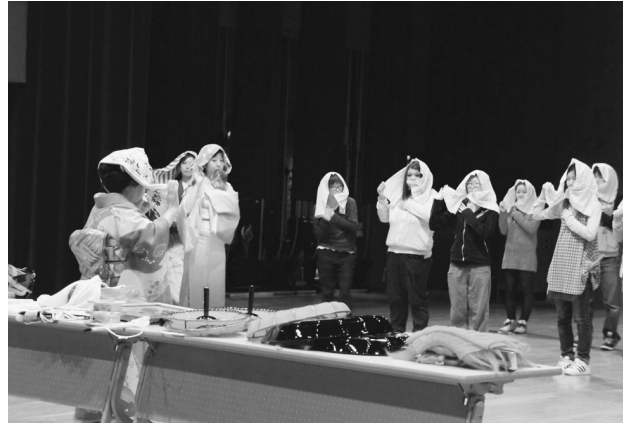
会があれば、またやりたいです。

11. すごく楽しかったです。久しぶりにいい汗かきました。すがすがしいです。健康になりました。
12. 今日はとてもいい勉強になりました。こんな授業はめったに受けることはないのですごく楽しかったです。また機会があったらおどりたいです。
13. ジャズダンスを体験しての感想ですが、つかれました。意外と振付も単純で覚えやすかったのですが動きが激しかったです。いい汗をかけました。
14. 思っていたより、楽しそうなダンスではなくハードなダンスだと思った。体全体を使っていたので体がつかれそう。これを踊ってる人はとてもすごいと思った。
15. 初めてシアターダンスを踊ったのですが、学祭で高校のころ、そんなようなものを踊ったのですねにイメージがつかめました。みんながんばっていたので、おもしろかったです。
16. すごくいい汗かけて楽しかった。むずかしいところもあったけどできてよかった。ジャズダンスすることもっとはやく教えてほしいかった。
17. 自分は前に一度、ダンスを習おうか迷ったことがありました。友達が専門学校でダンスの授業があったのでうらやましく思っていました。シアターダンスは初めてやりました。みんなについていくのは大変だったのですが、一曲踊れたら楽しいと思いました。前のパエラパエラも疲れたけど楽しかったです。またこういう授業をやってほしいと思いました。
18. 普段、体を動かさないので、汗だくになりました。やる気を出した途端に、股関節が痛くなりました。運動不足がこれほどまでとは、厳しいものを感じました。でも、楽しかったです。騒がしくて申し訳ないなあと思いました。機会があれば、またやりたいです。
19. シアターダンスをやってみて、元気にうごくのがとてもつかれました。久しぶりに清々しい汗をかけました。楽しかったです。
20. 今回のダンスの練習ではミュージカル風のダンスを教えてもらった。私はミュージカルが好きなのでとても楽しく踊れた。また皆で踊る授業がしたい。
21. ジャズダンス（シアターダンス）を初めて体験してみて、想像していたよりも難しかったです。ついていくのが大変でした。今日はありがとうございました。
22. 基本的にダンスは苦手つらいひどい嫌って感じだけど、今回はけっこう楽しめた。パエラパエラはむずかしくて泣いた。でも今回も難しいことには変わりはないで泣いた。汗もでた。
23. あつかった。（暑いと熱い意味で）激しすぎて休むひまがなかった。みんなたまに個性的なダンスに変わっていく人がいておもしろかった。シアターダンスというから優雅なものかと思ったけど。予想以上に激しくてとてもおどろきました。楽しかったです！！

3)「日本舞踊」にはいろいろな流派があるが、本学で長い間特別講師をしてくださった花柳流の先生をお迎えし、日本舞踊の歴史や小道具について講義をしていただき、手拭や扇子の使い方、日本舞踊の所作などを習い、最後に学生が日本の「さくらさく

ら」が踊れるようにご指導いただいた。

また「越後獅子」より「晒の踊り」、「藤娘」の一部、「蓬莱」（祝舞）、創作舞などの踊りを実際に見せていただける希少な機会を得ることができた。



手拭を使って「吹き流し」を試みる学生



花柳メ榮先生のご指導により「さくらさくら」を踊る学生



「藤娘」の一部を実演してくださる花柳七智紫先生

4)「韓国舞踊」は2年生の「舞踊研究」として毎年展開している授業である。学生同士のコミュニケーションや一体感、また舞台上での空間の使い方など

が学べる作品として韓国の新舞踊である「扇の舞」を取り入れている。

前述したように姉妹校がある韓国は同じアジア諸国であるが文化やそこから生じる動作は異なる。「扇の舞」は、扇を使うが日本の扇子と異なり、少し大きめでこれを両手に持ち美しい曲線を描きながら踊るのはなかなか至難の業である。基本姿勢から始まり歩き方、腕や手の動かし方の基本動作を学び、扇の使い方を練習してから作品の振付けを習得し発表した。今年初めて揃いの衣装を着用することができ、全体の統一感もさることながら、衣装や冠などを身に付けた女子学生の舞は華やかで、優美であった。授業の一環ということから、本来女性だけで踊られる舞であるが、男子学生もいるという現況から教育指導上、男女混合の舞とし、音楽も学生が聞き覚えのある曲、韓国歴史ドラマ「大長今」(チャングムの誓い) から「オナラ」を選曲した。照明は一般的によく舞踊の時に使われるピンク系を基調とし学生が仕込み、オペレーターを担当した。

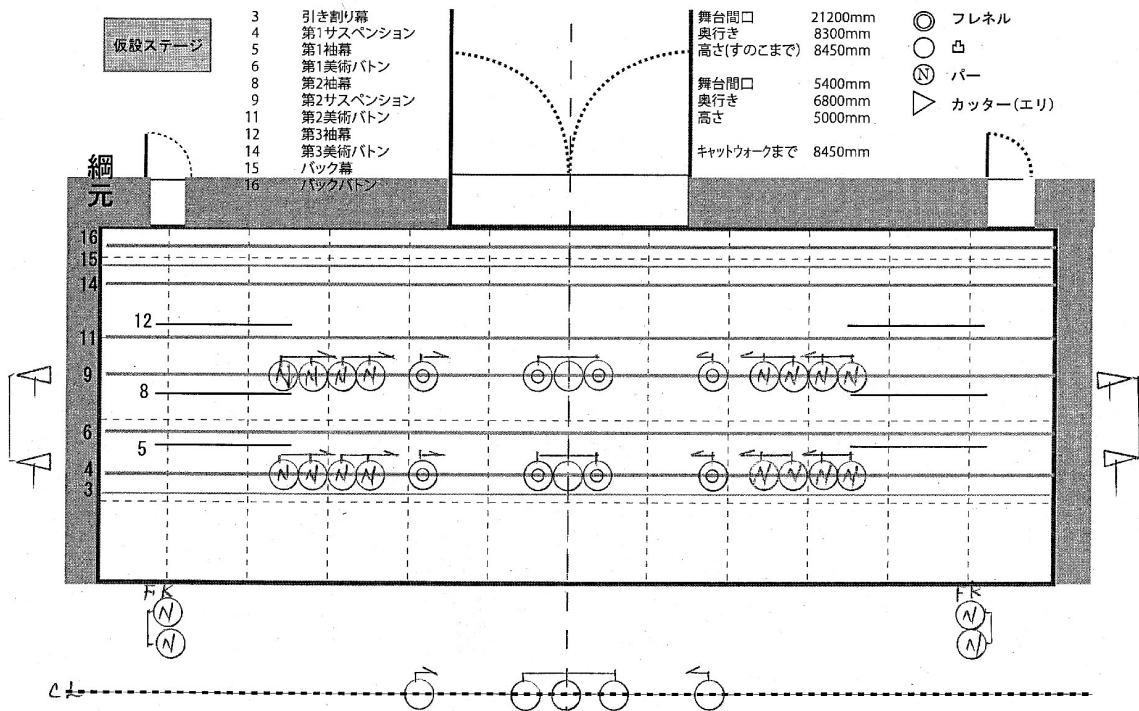


学生の感想

1. いつも使わない筋肉を使わされているようで、汗をかけた。音楽が耳から離れない。しばらくは。全員が一つの形をつくることの難しさを再び感じた。良い気持ちになった。
2. 初めてチマ・チョゴリを着ました。なかなかハードな踊りでけっこう疲れました。本番はなかなか上手くできたしみんなでやって楽しかったのでよかったです。また機会あったら着てみたいです。
3. 違う国の文化を身にしました。興味が湧いてきたので、今後日本舞踊と一緒に観てみたい。冠きれいだった。
4. 照明を担当して、踊りの場面でのシーン作りが楽しかったです。自分のチームと違うチームの照明の少しの違いもわかりました。舞踊をやる機会がほとんどないので良い経験になりました。日本でいう着物にあたるのが衣装なのかと考えさせられました。
5. 衣装が思ったよりかわいくてよかったです！なかなか着る機会がないのでテンション上がりました。かんむりも素敵だったけどグラグラすぎたのでちょっと不便でした。
6. 人生初の韓国舞踊でしたが、楽しく出来ました。多分生涯、もう二度と、パジ・チョゴリを着ることがないと思うので、着れて良かったです。めずらしい体験ありがとうございました。
7. 舞踊というのは初挑戦でしたがけっこういい感じにできたと思います。チームとの一体感もとれましたし、他国の文化も味わうことができました。男性衣装より個人的には女性衣装のほうが美しかったので女性衣装を着たかったです。
8. 扇の角度が難しかったです。でも衣装や冠をつけて曲に合わせて踊ってみて、とても楽しかったです。またやってみたいです。
9. 裾を何回かふんだり、ふまれたりして恐かった。かんむりつけた時テンションが上がった。せんすを開く時、音が鳴ると気持ち良い！楽しかった。
10. 自分のみたことのない文化にふれて興味がわき、非常に有意義だった。
11. 服はうごきやすかった。少しザラザラしてて着心地があまりよくなかった。みんなでやって曲に合うと気持ち良かった。
12. 初めて踊って韓国舞踊とはこんなものかとわかった。チームワークが大切だった。
13. 実際に衣装をきて踊ってみると心持ちというかモチベーションが上がって楽しかったです。
14. 衣装を着て踊ってみると、気がひきしまってなんか良い感じだった。楽しかった。
15. 衣装は思ったより軽く動きやすかったです。みんなおそろいでとういつ感があって良かったです。もう少し完成度高くできたらなーと思いました。
16. スカートの長すぎて動きづらかった。普段着れないような服で面白かった。
17. すごく動きづらくて大変なものを韓国の方は着て踊っているのはすごいなと思いました。疲れたけど、もっとたくさんの踊りをしたいなと思いました。
18. 本場の韓国を味わうことができてよかった。また他の機会にこのようなことをやりたいと思った。
19. 最初はやる気なかったけどやってみて楽しかったで

- す。衣装が良かったです。そんなにやれることでもないのでもいい経験ができました。
20. 初めての体験だったので大変だったが楽しくできた。また踊ってみたいと思う。セリを2つ持って踊るのが新鮮だった。チマチョゴリを着てよかった。
21. 舞踊系の授業は本当にはじめてで難しい面もあったけど、楽しかった。自分は1チームのふりを覚えれば良かったけど、休みの人のかわりに入って踊った人たちは、更に大変だろうと思った。頭のやつがとれやすいのがたまにキズでした。扇をさわるたびにトゲがささ

- りそこも大変だった。やれて良かった。
22. 今まであまり休まず練習してきたのでけっこうまくなつたと思う。衣装は着心地が悪かったです。ずっと出れなくていきなり本番で不安だったけどしっかり出きたと思う。チマチョゴリも着れて楽しかったけど裾を踏みそうで怖かった。写真楽しみ。頭の飾りがとれそうだった。
23. 見たことはあったけどやるのは初めてで良い経験になった。なんだかみんな楽しんでたと思う。



「扇の舞」照明仕込み図 (ポルトホール)

5) 「舞踊専門研究」は3年生授業として主に「ピラティス」と「フラダンス」を行い、基礎的な体つくりの強化と姉妹校があるハワイの歴史やフラダンスの時代背景、基本姿勢や基本用語、ステップ、楽器、衣装などについて学んでいる。まず、基本姿勢から始まりステップ、手の動き、歌を覚え、その歌詞の意味を理解しながらその意味が持つ動作を習い、練習、発表となった。衣装は残念ながら、きちんとしたものは揃えられなかったが、私物ではあるが少しでもハワイらしい雰囲気を作るよう努めた。

また、ハワイではみんなが知っている有名な歌「THE HUKILAU SONG」(フキラウ・ソング)を選曲している。これは楽しく漁をして、自然に感謝しながら捕れた魚で楽しく宴を開くハワイの人の歌である。

The Hukilau Song ⁴⁾

Oh, we're going to a hukilau
A huki, huki, huki, huki, hukilau
Everybody loves a hukilau
Where the laulau is the kaukau at the hukilau
We throw our nets out into the sea
And all the 'ama 'ama come swimming to me
Oh, we're going to a hukilau
A huki, huki, huki, huki, hukilau

What a beautiful day for fishing
The old Hawaiian way
And the hukilau nets are swishing
Down in old La'ie Bay
Oh, we're going to a hukilau
Huki, huki, huki huki, hukilau



写真上：「Oh, we're going」の動作 / 下：最後の挨拶



学生の感想

1. 今回のフラダンスを始めて見た目より難しく、フラダンスにも色々な種類があり、やっていてとても楽しめました。今回は比較的簡単なフラダンスをやりましたが、時間をかけてより難しいフラダンスに挑戦してみたいとも思いました。また、今回を通してフラダンスとはとても体力の使うダンスだということを知りました。今回は個人的に腰を痛めていたため上手く腰を使ってフラダンスをする事が出来なかったのは残念です。先輩たちのようにキレのあるフラダンスをしたかったです。
2. 生まれて初めて経験したフラダンスですが、思ったよりも面白く且つ、難しかったです。DVDを焼いて家でも練習しましたがやはり私自身の特有の動きを封じるのにかなり苦労しました。役者を目指す自分としては、その特有さを個性としながらそれだけの自分にはなりたくなく、たくさん考えさせられました。2年生の時の韓国舞踊の際には何処か意固地になり上手いかなかった記憶があります。今回は柔軟にフラダンスという演目を少なからず理解できたのではないかと自分自身は思っています。
残すところ一年となりましたがまた何か発見していけたらなと私自身新たな目標が出来るきっかけになりました。
3. フラダンスと一口に行っても、一つの躍りを指すのではなく、数種類の躍りがあるとは知りませんでした。そう。フラダンスに初めて触れた自分は、そんなことだらけでした。ハワイに行ったことのない自分には、フラダンスは観光客が来たら、若い女の子が踊って喜

ばせるくらいにしか思っていなかったけれど、豊漁を願う踊りだとは知りませんでした。男性が踊る逞しい舞踏。島毎に特色のある身に付けるもの。フラダンスには、こんなにも自分の知らないものがあったことに驚きと、新しいものに触れる新鮮さを感じることが出来ました。今回の講義を通じ、ハワイの文化に触れることが出来て、ぜひ一度はハワイに行き、生の、現地の風土に触れてみたいと思いました。

4. 腰・足・手と動きが連動していて難しいと感じました。しかし動きに一つ一つ意味がありハワイの伝統と文化を上手く表現しているダンスだと思います。とても楽しかったです。
5. 地域によって衣装の色、楽器などに違いがあるとは知らなかったです。振り付けもそれぞれに意味があることを授業で知りました。みんな練習してみんなで発表できてよかったなと思いました。今回の授業で学んだことをふまえて、またハワイに旅行に行きたいなと思いました。「フラガール」で踊っていたようなテンポの速い曲も楽しそうだなと思いました。踊ること嫌いじゃないので、また機会があればみんなでダンスできたらおもしろそうだなと思ってます。
6. 練習中はみんなに笑われ不思議なステップを踏んでいたわたしですが、本番前の練習でばっちり踊れるようになりました。さすがわたしだと思います。ぜひフラダンスの研修でみんなでハワイに行きたいです。
7. 初めてのフラダンス、とても楽しかったです。最初はステップも覚えられなくて発表までにちゃんと出来るか不安でした。でも徐々にステップも覚えて、本番も少しミスはありましたが無事に踊りきれて安心しました。機会があればまたやりたいです。

V. おわりに

以上、本学における身体表現分野に関する実践的教育の試みについて現状を述べたが、ポルトホールのような素晴らしい設備を利用して学べることは学生にとってとても恵まれた環境であり、大学で学ぶ専門的知識や教養を身につけながら、実践的教育も同時に受けることができるユニークなカリキュラムの展開により、理論だけではなく実践力を兼ね備えた学生の養成が可能になっているといえよう。

今年度最後の定期公演として2年生による「マクベス」が1月に公演された。この公演では舞台上に二階を作り舞台全体を走り回ったり戦いのシーンでは殺陣（たちまわり）、二階から階段を駆け下りたりする場面があり、観客席も出入りに利用され突っ切るまで走るという初めての試みが行なわれたが、この舞台では学生達も体力のなさをつくづく痛感したのではないだろうか。怪我もなく無事公演を終了したが基礎的な体力はもとより自分が表現したいことを自由にかつ柔軟にできる体づくりはすぐにできるものではなく、普段から体力・持久力・

柔軟性を養うことの重要性を再確認したことであろう。

また、本研究では、地域社会に貢献できる人材育成や地域貢献に関する研究として高校生のためのワークショップやスピーチコンテスト、朗読会などを開催し本学の学生も携わっているが、今後身体表現分野においても地域にどのように貢献できるか考えなければならない。

謝辞：特別講師としてご指導いただいた山本敏美氏，太田玲美氏，竹内さとみ氏，谷口エツ先生，また日本舞踊をご披露いただいた所司昭子氏，岩澤智子氏，宮川めぐみ氏，照明のアドバイスをいただいた非常勤講師の鈴木静悟先生に記して感謝いたします。

引用文献

- 1) 舞台芸術通信「PROBE」 舞台芸術研究プロジェクト 創刊号：89頁 北翔大学北方圏情報センター 2007年
- 2) 舞台芸術通信「PROBE」 舞台芸術研究プロジェクト 第四号：86頁 北翔大学北方圏情報センター 2010年
- 3) 2011「講義要綱」 北翔大学短期大学部2年次 68, 69頁 北翔大学 2011年
- 4) Patricia Lei Anderson / Murray “How to Hula” p14 Mutual Publishing 1997

付記

本研究は平成23年度，北翔大学北方圏学術情報センター研究費の助成を得て実施された。